

1. 活動の概要

11月23日(木)、島根県立松江ろう学校で『心に残る文化財子ども塾』を開催しました。はじめに学校周辺の遺跡について勉強しました。実際の発掘調査で見つかった本物の遺物を見学しました。縄文土器がとても大きくて驚いていました。次に、「古代食づくり」をしました。赤米を土器の中に入れていねいに研ぎました。赤米の入った土器は特設のカマドにかけました。赤米が炊けるのを待つ間、「貫頭衣(かんとうい)」という古代の衣装を着て、「火起こし」に挑戦しました。なかなか火が起きず大変でしたが、みんな頑張ってチャレンジしました。最後に炊けた赤米を試食しました。炊きたてのおいしいご飯だったので、おかわりをする子がたくさんいました。古代について勉強したり、体験したり大変だったけど、楽しい一日となりました。

2. 活動の様子

1) 古代体験活動～古代食づくり～



「たきぎに火を付けてごはんを炊きます。」

「おいしいご飯がたけるといいな」

2) 古代体験活動～火起こし～



「がんばって火を起こすぞ！」

「けっこう、むずかしい」

3. 子ども塾を終えて

1) 児童の皆さんから…

- ・火起こしが大変だったけど楽しかった。
- ・火起こし一生けんめいした。
- ・古代食の赤米を食べた。とてもおいしかった。
- ・火起こしが一番楽しかったです。たいへんだったけど、火がついた時はうれしかったです。
- ・火起こしが楽しかったです。
- ・火おこしがちょっと大変だった。やっとできたと思った。

2) 担任の先生から…

- 土器をはじめたくさん教材があり、児童の興味関心が高まった。
- 古代食、火起こし、古代衣装の体験活動では児童の主体的に活動する姿が多く見られた。
- 歴史に関する話は、学校近郊の遺跡を中心にコンパクトにまとまって、とてもわかりやすかった。

3) 埋文センターから

遺跡の話は、低学年や中学年のみなさんには少し難しかと思いましたが、全員、熱心に聞いていました。体験活動では、火起こしが大変だったようですが、時間いっぱいまで頑張りました。古代食では赤米が上手に炊けて好評でした。盛りだくさんの内容でしたが、児童のみなさん、先生や保護者のみなさんの御協力で、良い子ども塾となりました。